

ISSN 0385-7476
SSK

158
1998
November



1 特集◎

社会福祉基礎構造改革の動向と 障害者福祉の展望

佐藤久夫

17 ルポ◎

米国二つの視覚障害者団体大会

川田隆一

22 talk to talk◎

教育ビッグバンとなるか

— 第3の教育改革と盲学校 — 香川邦生／木塚泰弘

38 ボランティア最前線◎

「Brailleメーリングリスト」を開設して……

中村浩治

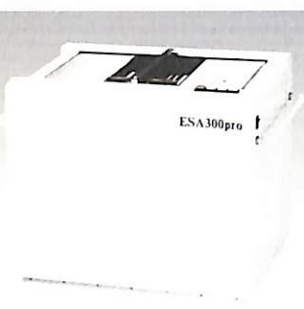
45 インフォメーション・コーナー

盲人用情報機器シリーズ

品質の良さは納入先に表れます。

ESA300Pro 点字ラインプリンタ 1ページ5秒! 最高速の業務用 点字ラインプリンタ

日本最高速の印刷スピードと両面印刷を実現。32マス22行をわずか5秒で打ち出し、ラインプリンタにありがちな紙のよれもなく、すばやく美しく仕上げます。



V-500 大量の用紙カットも、スムーズ&スピーディー



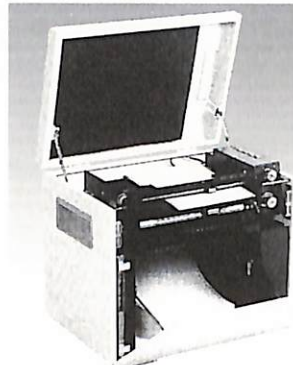
ページエンドと片耳(両耳)カット同時で1,000枚が15分で完了。操作状況が一目でわかる液晶パネル、ページとばし防止ストッカーなどかんたん操作で使いやすく、音も静かです。

PORTA-THIEL ポータ・ティール日本仕様 机の隣に一台、気軽なパーソナル・プリンタ



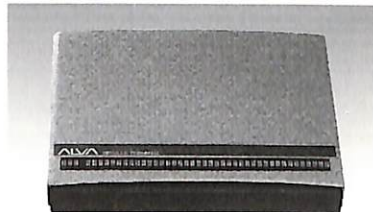
点字プリンタでは世界的信頼を誇るドイツ・ティール社との提携で生まれた、コンパクトサイズのパーソナルプリンタ。日本点字規格への対応はもちろん、すべて日本仕様です。

ESA721 点字プリンタ・プロッタ 点図表現も思いのまま。 定評ある高性能&多機能型



高速印字はもちろん、3点方式による点作図プロッタ機構(世界初)の搭載で、すぐれたグラフィック表現が可能。音も静かで、広くご愛用いただいています。

ALVA BRAILLE TERMINAL ABT-340 (40+3キャラクター) 世界標準にアクセスできる 点字用ピンディスプレイ



MS-DOSをはじめIBM/OS2、ウィンドウズにも対応。オランダ・アルバ社特許のタッチカーソルにより、優れた操作性を実現しました。小型軽量で、ノートパソコンにも最適です。

各機器についての詳細、
その他取り扱い機器については、
弊社まで資料をご請求ください。



JTR Corporation

有限会社 ジェイ・ティー・アール
東京都北区浮間4-17-4

Tel.03-5392-0414 Fax.03-3967-8254

鳥居篤治郎先生頌徳碑建立



挨拶に立たれる壽岳章子先生

京都府立盲学校の教員を勤め、京都ライトハウスの創設者である鳥居篤治郎先生は、盲人教育や盲人福祉、盲人海外交流など、盲人の自立と文化・社会的地位の向上に生涯をささげられました。その功績に対しては、京都新聞第1回文化賞、ヘレンケラー賞、朝日新聞社会奉仕賞や勲三等瑞宝章が贈られています。

京都府視覚障害者協会では、結成50周年を記念し、先生の偉業を末永く後世に伝えるため、全国へ寄付を募り鳥居篤治郎先生頌徳碑を建立しました。除幕式は去る9月11日午後、京都府与謝郡野田川町の森林公園で行なわれました。高さ2m、幅1.2m、厚さ30cmの白地の御影石の碑には、国語学者・壽岳章子先生の書なる鳥居篤治郎先生の功績が刻まれています。

ビバ アミー！30周年記念コンサート



10月11日、名古屋市民会館大ホールでは「アンサンブル・アミー結成30周年記念コンサート、AMI・FIESTA 98」が開催されました。

「アンサンブル・アミー」は、視覚障害者を中心に活動するラテンバンドで、今年で30周年。その記念として、ラテン・マルキータ&ジローをゲストに迎え、ペレス・パラードやザビア・クガーでお馴染みの曲を中心に、全16曲、2時間半にわたるステージを繰り広げました。アミーは、今年1月メキシコを親善訪問したこともあり、会場はメキシコムードいっぱい、聴衆の目と耳と心を魅了しました。

(写真提供：アンサンブル・アミー)

にってんで

サロンコンサート

日本点字図書館では、文化の発信地として、また開かれた施設として「にってんサロンコンサート」を開催してきました。改築工事に伴い4年の中断を強いられていましたが、今年春の竣工により、再開。第1回目となった9月のコンサートは、ニューヨークを中心に活動するジャズ・ミュージシャンの加納洋さんのピアノ演奏。加納さんは、日本での全国ツアーのため一時帰国していて、多忙なスケジュールの合間での特別出演でした。



立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

神奈川県で第34回全国身体障害者スポーツ大会「かながわ・ゆめ大会」が開催されました。関東では一部のニュースショーで競技種目などが紹介され、大会への雰囲気盛り上げました。

8か月前の長野冬季パラリンピックでは、競技日程やその結果がマスメディアで連日紹介されました。その記憶があり、今回の大会でもそれらの報道を期待しました。場所がら、見学にでかけようと全国紙を開くと、開会式当日のそれには560字、翌日は120字程度の記事でしかなく、私の求める内容はありません。「目立たない存在」であることは、障害者への一つの理解や認識度の向上を意味するとも言えます。とはいえ、今はまだ進展しつつある段階であり、長野パラリンピックとの報道の落差に唖然とするのみです。長野での報道を機に、障害者へのスポーツ、レクリエーションへの理解や関心が高まっただけに今回のマスコミの取り扱いは残念でなりません。(立花明彦)

視 覚 障 害 1998年11月 No.158

年間購読料 4,200円 (送料とも)

発行日 1998年11月 1 日

編集人 立花 明彦

(連絡先) 日 本 盲 人 福 祉 研 究 会

〒167-0043 東京都杉並区上荻 2 丁目37番10号
Keiビル 3 階

電話 (03)5310-5051 (代)

FAX (03)5310-5053

振替口座 00160-4-16103

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6 -26-21

印刷所 株式会社 大活字

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-1-9

電話(03)5282-4361